

Feb. 10

筑波大学

スマートキャンパスプロジェクト 成果報告会

開学から50年が経過したキャンパスを、ポストコロナ時代にふさわしい、人と人との自然な出会いや交流が生まれる場にリニューアルする検討を進めています。学生の皆さんの空間利用の実態に合わせたキャンパス整備シナリオを検討しながら、過ごしやすく・移動しやすいキャンパスづくりを目指しています。

成果報告会 概要

第3エリアスマートキャンパスプロジェクトでは、この約1年の間にプレイスメイキングのための**三度の学生ワークショップ**や自転車利用環境の変更を伴う**滞在空間形成の社会実験**などを行いながら、キャンパス利用者の評価・滞在行動の特徴・自転車利用実態の把握等の定量評価を進めてきました。本報告会では、これらの研究成果を含めて社会実験の成果を報告するとともに、第3エリアの滞在空間・自転車利用の望ましい姿を議論したいと思います。

プログラム

ポスターセッション

15:00 - 15:55

全体セッション

日時：2月10日(火) 15:00-18:00

場所：3B213 (プレゼンテーションルーム)

- 居心地アンケートからみた社会実験の評価
- 空間整備による広場での滞在行動と印象の変化
- 自転車通学者の経路・駐輪場選択への空間変化の影響
- 自転車・歩行者軌跡データによる空間安全性評価
- 物理的・心理的介入による駐輪行動への効果

16:00 - 16:10 スマートキャンパスプロジェクト全体概要

藤井さやか（筑波大学社会工学域）

16:10 - 16:30 学生・大学との協働によるプレイスメイキング

槇枝潤一（鹿島建設 建築設計本部）

16:30 - 16:50 空間整備による広場での滞在行動と印象の変化

船戸祐汰（筑波大学大学院社会工学学位P）・雨宮護（筑波大学社会工学域）

16:50 - 17:10 自転車利用の変化～駐輪と安全～

浦田淳司（筑波大学社会工学域）・上杉朋花・中澤瑠河

参加申込は[こちら](#)

17:10 - 17:20 居心地アンケートからみた社会実験の評価

藤井さやか（筑波大学社会工学域）・岩崎真由子

17:30 - 17:55 全体討議・意見交換

おわりに

鈴木健嗣（筑波大学システム情報系長）



当日参加も大歓迎！